

令和8年度 農作業安全推進研修

安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コース（オンライン）Ⅰ

令和8年6月19日（金）

（定員：20名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業安全に関する指導者など、地域における農作業安全の推進を担う者を対象として、参加者同士が意見交換する形式で実施する対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得する。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
6 / 19 (金)	午前	<p>9:30～ 9:45 開講式・オリエンテーション</p> <p>9:50～11:20 対話型研修について（実施手法など） （講師：農研機構 農業機械研究部門 システム安全工学研究領域 予防安全システムグループ グループ長 積 栄 同 グループ長補佐 紺屋朋子）</p> <p>11:30～12:00 対話型研修に係る受講体験の注意点 （講師：同 上）</p>	<p>対話型研修の概要並びに事前準備、研修当日及び研修後における研修担当者の役割を習得</p> <p>設定を確認するなど、受講体験の準備</p>
	午後	<p>13:15～15:15 対話型研修の受講体験 （講師：同 上）</p> <p>15:25～16:25 対話型研修の実施のポイント （講師：同 上）</p> <p>16:30～ 閉講式</p>	<p>仮説のテーマにより、対話型研修を受講生の立場から体験</p> <p>受講体験を踏まえ、対話型研修の実施のポイントを習得</p>

- 注： 1 参加人数により、日程の一部を変更することがあります。
 2 オンラインはWebex を使用して実施します。
 3 事前に接続テストを実施します。

令和8年度 農作業安全推進研修

安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コース（オンライン）Ⅱ

令和8年12月9日（水）

（定員：20名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業安全に関する指導者など、地域における農作業安全の推進を担う者を対象として、参加者同士が意見交換する形式で実施する対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得する。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
12 / 9 (水)	午前	9:30～ 9:45 開講式・オリエンテーション 9:50～11:20 対話型研修について（実施手法など） （講師：農研機構 農業機械研究部門 システム 安全工学研究領域 予防安全システムグループ グループ長 積 栄 同 グループ長補佐 紺屋朋子） 11:30～12:00 対話型研修に係る受講体験の注意点 （講師：同 上）	対話型研修の概要並びに事前準備、研修 当日及び研修後における研修担当者の役割 を習得 設定を確認するなど、受講体験の準備
	午後	13:15～15:15 対話型研修の受講体験 （講師：同 上） 15:25～16:25 対話型研修の実施のポイント （講師：同 上） 16:30～ 閉講式	仮説のテーマにより、対話型研修を受講 生の立場から体験 受講体験を踏まえ、対話型研修の実施の ポイントを習得

- 注： 1 参加人数により、日程の一部を変更することがあります。
 2 オンラインはWebex を使用して実施します。
 3 事前に接続テストを実施します。

令和8年度 農作業安全研修

農業機械整備技術・初級コース I

令和8年5月11日（月）～5月13日（水）

（定員：8名）

（研修のねらい）

本研修は、主要な農業機械の構造・機能と日常的なメンテナンス内容について学び、一般的な環境で使用されている農業機械の実態について理解することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
5 / 11 (月)	午後	13:00～ 開講式・オリエンテーション 13:15～16:00 エンジン及びトラクターの構造・機能 (講師：技術研修指導官等)	ジーゼルエンジン及びトラクター等の構造・機能説明	水戸ほ場 第1研修室 機械教室
5 / 12 (火)	午前	9:15～12:00 コンバインの構造・機能 (講師：技術研修指導官等)	自脱型及び普通型コンバインの構造・機能説明	〃
	午後	13:00～16:00 田植機の構造・機能 (講師：技術研修指導官等) 園芸用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	田植機の構造・機能説明 園芸用作業機の構造・機能説明及びその使用実習	〃 練習ほ場
5 / 13 (水)	午前	9:15～12:00 畑作用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	プラウ及びロータリ等の畑作用機械の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場
	午後	13:00～15:35 牧草用機械の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等) 15:50 ～ 閉講式	モアー、テッダー、ベラー、ラッパ等 の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場 第1研修室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和 8 年度 農作業安全研修
農業機械整備技術・初級コースⅡ

令和 8 年 5 月 1 3 日（水）～5 月 1 5 日（金）

（定員：8 名）

（研修のねらい）

本研修は、主要な農業機械の構造・機能と日常的なメンテナンス内容について学び、一般的な環境で使用されている農業機械の実態について理解することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
5 / 1 3 (水)	午後	13:00～ 開講式・オリエンテーション 13:15～16:00 エンジン及びトラクターの構造 ・機能 (講師：技術研修指導官等)	ジーゼルエンジン及びトラクター 等の構造・機能説明	水戸ほ場 第 3 研修 室 機械教室
5 / 1 4 (木)	午前	9:15～12:00 コンバインの構造・機能 (講師：技術研修指導官等)	自脱型及び普通型コンバインの構 造・機能説明	〃
	午後	13:00～16:00 田植機の構造・機能 (講師：技術研修指導官等) 園芸用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	田植機の構造・機能説明 園芸用作業機の構造・機能説明及び その使用実習	〃 練習ほ場
5 / 1 5 (金)	午前	9:15～12:00 畑作用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	プラウ及びロータリ等の畑作用機 械の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場
	午後	13:00～15:35 牧草用機械の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等) 15:50 ～ 閉講式	モアー、テッダー、ベラー、ラッ パー等の構造・機能説明及びその使用 実習	練習ほ場 第 3 研修 室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。
2 作業着、作業手袋を持参してください。
3 最少実施人数：2 名

令和 8 年度 農作業安全研修
農業機械整備技術・初級コースⅢ

令和 8 年 1 2 月 1 0 日 (木) ～ 1 2 月 1 1 日 (金)

(定員：4名)

(研修のねらい)

本研修は、整備作業の基礎とトラクター及びロータリの点検整備に関する技術を学ぶコースであり、日常的な点検整備を行える技術習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
1 2 / 1 0 (木)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション 13:30～16:00 整備作業の基礎 (講師：技術研修指導官等)	工具の使い方、電気の初歩、テストターの使い方、ボルト・ナットの締め付け、機械要素の規格について	水戸ほ場 第 3 研修室 機械教室
1 2 / 1 1 (金)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	実機を用いて 300 時間点検相当の点検整備実習 (オイル交換、エレメント交換、冷却水交換、燃料装置の簡易な整備、エンジン電気系統の点検整備、クラッチ、ミッション、タイヤ、ステアリング、灯火装置等の点検整備)	〃
	午後	13:00～14:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		14:00～16:00 ロータリの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	ロータリの日常的な点検整備 (爪、ベアリング、オイルシール、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構)	〃
		16:00～ 閉講式		第 3 研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修

農業機械整備技術・初級コースⅣ

令和9年3月11日（木）～3月12日（金）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、整備作業の基礎とトラクター及びロータリの点検整備に関する技術を学ぶコースであり、日常的な点検整備を行える技術習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
3 / 11 (木)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 整備作業の基礎 (講師：技術研修指導官等)	工具の使い方、電気の初歩、テストターの使い方、ボルト・ナットの締め付け、機械要素の規格について	機械教室
3 / 12 (金)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	実機を用いて300時間点検相当の点検整備実習（オイル交換、エレメント交換、冷却水交換、燃料装置の簡易な整備、エンジン電気系統の点検整備、クラッチ、ミッション、タイヤ、ステアリング、灯火装置等の点検整備）	〃
	午後	13:00～14:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		14:00～16:00 ロータリの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	ロータリの日常的な点検整備（爪、ベアリング、オイルシール、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構）	〃
		16:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修

農業機械整備技術・中級コース I

令和8年11月25日(水)～11月27日(金)

(定員：4名)

(研修のねらい)

本研修は、トラクター、刈払機のメンテナンスを中心にテストの使い方や小型汎用エンジンの分解組み立て等を通して機械の構造・機能を理解し、通常の簡易な修理を行える技術習得を目標とする。

(受付場所:水戸ほ場玄関)

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
11 / 25 (水)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 安全な整備作業 テストの使い方及び実習 (講師：技術研修指導官等)	工具の種類、使用方法と安全な整備 作業方法 テストの使い方、簡易な使用方法 実習	機械教室
11 / 26 (木)	午前	9:15～12:00 トラクターの安全操作に欠かせない整備要点 (講師：技術研修指導官等)	ブレーキ、灯火装置等、安全運転に欠かせない装置の点検整備実習、排気ガスの測定実習	〃
	午後	13:00～16:00 トラクターの整備 (講師：技術研修指導官等)	エアフィルター、燃料フィルター、冷却系統、ノズル、油圧装置、走行装置の点検と簡易な整備	〃
11 / 27 (金)	午前	9:15～12:00 刈払機の安全操作に欠かせない整備要点及び簡易な整備 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の概要、刈刃、ギヤ室等の整備実習、キャブレターの分解・調整等の実習	〃
	午後	13:00～14:45 小型エンジンの分解・組み立て (講師：技術研修指導官等)	汎用小型ガソリンエンジンの分解・組み立て実習	〃
		15:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

2 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修
農業機械整備技術・中級コースⅡ

令和9年2月3日（水）～2月5日（金）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、トラクター、刈払機のメンテナンスを中心にテストの使い方や小型汎用エンジンの分解組み立て等を通して機械の構造・機能を理解し、通常の簡易な修理を行える技術習得を目標とする。

（受付場所:水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
2 / 3 (水)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 安全な整備作業 テストの使い方及び実習 (講師：技術研修指導官等)	工具の種類、使用方法と安全な整備 作業方法 テストの使い方、簡易な使用方法 実習	機械教室
2 / 4 (木)	午前	9:15～12:00 トラクターの安全操作に欠かせない整備要点 (講師：技術研修指導官等)	ブレーキ、灯火装置等、安全運転に欠かせない装置の点検整備実習、排気ガスの測定実習	〃
	午後	13:00～16:00 トラクターの整備 (講師：技術研修指導官等)	エアフィルター、燃料フィルター、冷却系統、ノズル、油圧装置、走行装置の点検と簡易な整備	〃
2 / 5 (金)	午前	9:15～12:00 刈払機の安全操作に欠かせない整備要点及び簡易な整備 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の概要、刈刃、ギヤー室等の整備実習、キャブレターの分解・調整等の実習	〃
	午後	13:00～14:45 小型エンジンの分解・組み立て (講師：技術研修指導官等)	汎用小型ガソリンエンジンの分解・組み立て実習	〃
		15:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

2 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修

水田機械技術向上コース

令和8年10月6日（火）～10月7日（水）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、日頃から稲作を行っている農業者や指導者が、水稻の収穫・ロータリ等耕うん操作技術・メンテナンスを実習し、安全な作業を行うために必要な実践的な知識、技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
10 / 6 (火)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション 13:30～16:00 コンバインの操作と安全確保（収穫作業） (講師：技術研修指導官等)	事件事例紹介、安全な操作方法（畦越え、積み込み時の危険体験及び作業時の安全確認）	水戸ほ場 第3研修室 水田ほ場
10 / 7 (水)	午前	9:15～12:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作業） (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ耕法 (各種機能、旋回方法等)	練習ほ場
	午後	13:00～15:00 ロータリの点検整備 (講師：技術研修指導官等) 15:10～ 閉講式	ロータリの日常的な点検整備（爪、ベアリング、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構）	機械教室 第3研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。
2 作業着、作業手袋を持参してください。
3 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修

農業機械基礎技術コース I (乗用型トラクター1)

令和8年9月1日(火)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が乗用型トラクターの基本的な点検や安全な運転方法を実習し、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
9 / 1 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション 9:15～10:00 農作業安全(講義) (講師：研修調整官) 10:00～12:00 トラクターの構造と機能および 作業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎(燃料、潤滑、冷却、走行等)の点検箇所と点検方法	水戸ほ場 第3研修室 " 運転コース
	午後	13:00～14:00 トラクターの基本的な安全運転実習 14:00～16:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等) 16:00～ 閉講式	安全な発進、駐車、方向変換の操作手順 10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度(安全装置付)の斜面での横転疑似体験、急坂(15度・20度)を昇降する時の危険性比較	運転コース 傾斜面・路 第3研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。
2 作業着、作業手袋を持参してください。
3 最少実施人数：2名

令和 8 年度 農作業安全研修

農業機械基礎技術コースⅡ（小型耕うん作業機）

令和 8 年 9 月 2 日（水）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が歩行型及び乗用型トラクターによる安全なほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
9 / 2 (水)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション 9:15～10:00 農作業安全（講義） （講師：研修調整官） 10:00～12:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 （講師：技術研修指導官等）	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント 事件事例紹介、安全な操作方法（耕うん作業、トレーラ走行）	水戸ほ場 第3研修室 〃 練習ほ場
	午後	13:00～16:00 小型乗用トラクター作業（ロータリ耕うん実習） （講師：技術研修指導官等） 16:00 ～ 閉講式	用途、構造、取り扱い上の留意点、安全作業のポイント、ロータリ耕うん方法（各種機能、旋回方法等）	練習ほ場 第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和8年度 農作業安全研修
 農業機械基礎技術コースⅢ（総合）

令和9年2月24日（水）～2月25日（木）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等がトラクターの基本的な安全運転・操作技術、初歩的なメンテナンス方法、農作業安全に対する知識等を習得することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
2 / 24 (水)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション 9:20～10:00 トラクターの基本的な安全運転実習 10:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師:技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向転換の操作手順 10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度（安全装置付）の斜面での横転擬似体験、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	水戸ほ場 第3研修室 運転コース 傾斜面路
	午後	13:00～15:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 (講師:技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法（耕うん作業、トレーラー走行）	練習ほ場
2 / 25 (木)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの仕組みとメンテナンスの初歩 (講師:技術研修指導官等)	乗用型トラクターの簡易な整備方法（実習体験含む）	機械教室
	午後	13:00～14:45 農作業安全のポイント (講師:研修調整官) 15:00～ 閉講式	農作業事故の実態、事故事例と農作業安全対策のポイント	第3研修室 〃

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和 8 年度 農作業安全研修

農業機械基礎技術コースⅣ（乗用型トラクター 2）

令和 9 年 3 月 3 日（水）

（定員：6 名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が、乗用型トラクターの危険体験や危険回避の方法を実習し、安全なほ場作業を行うために必要な基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
3 / 3 (水)	午前	9 : 00 ~ 開講式・オリエンテーション 9 : 20 ~ 10 : 00 トラクターの基本的な安全運転実習 10 : 00 ~ 12 : 00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向転換の操作手順 10 度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15 度（安全装置付）の斜面での横転擬似体験、急坂（15 度・20 度）を昇降する時の危険性比較	水戸ほ場 第 3 研修室 運転コース 傾斜面・路
	午後	13 : 00 ~ 15 : 45 乗用型トラクター走行の安全確保（乗用型トラクターでの畦越え、不整地走行、傾斜地走行） 高齢者体験 (講師：技術研修指導官等) 16 : 00 ~ 閉講式	トラクターと作業機とのミスマッチによる畦越え時の転倒危険性体験と安全確保の方法、不整地走行でのハンドル操作の困難性、ほ場の傾斜地での横方向への急傾斜体験 高齢者体験セット（ゴーグル、おもり、ベルト等により 80 歳程度の運動能力）の装着によるトラクターの操作	練習ほ場 第 3 研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。
 2 作業着、作業手袋を持参してください。
 3 最少実施人数：2 名

令和8年度 熱中症対策研修

熱中症及び作業環境対策コース I

令和8年6月2日（火）

（定員：100名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業中の死亡事故の原因として増えつつある熱中症の予防対策の重要性に対する理解を深めることにより、農作業安全対策の知識向上に資することを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
6 / 2 (火)	午前	10:00～ 開講式・オリエンテーション 10:05～11:00 農業における熱中症の現状等について (講師：農林水産省農産局技術普及課) 11:00～12:00 熱中症の予防と救命のための身体冷却法 (講師：中京大学スポーツ科学部 教授 松本孝朗)	農業における熱中症の発生状況と現状の取組 熱中症の4つの病型とその発症メカニズム、予防法、応急処置
	午後	13:40～14:20 効果的な水分補給について (講師：大塚製薬(株) ニュートラシューティカルズ事業部 ソーシャルヘルス・リレーション部) 14:35～15:35 今年の夏の天候見通し (講師：NPO 法人 気象キャスターネットワーク 事務局長 水越祐一) 15:35～ 閉講式	健康で過ごすための睡眠・栄養・水分補給について トピックスとして深部体温に着目し解説 気象庁の中・長期予報による今年の夏の天候について解説

(注) 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

令和8年度 熱中症対策研修

熱中症及び作業環境対策コースⅡ

令和8年6月26日（金）

（定員：100名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業中の死亡事故の原因として増えつつある熱中症の予防対策の重要性に対する理解を深めることにより、農作業安全対策の知識向上に資することを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
6 / 26 （金）	午前	10：00～ 開講式・オリエンテーション 10：05～11：00 農業における熱中症の現状等について （講師：農林水産省農産局技術普及課） 11：00～12：00 熱中症の予防と救命のための身体冷却法 （講師：中京大学スポーツ科学部 教授 松本孝朗）	農業における熱中症の発生状況と現状の取組 熱中症の4つの病型とその発症メカニズム、予防法、応急処置
	午後	13：40～14：20 効果的な水分補給について （講師：大塚製薬（株） ニュートラシューティカルズ事業部 ソーシャルヘルス・リレーション部） 14：35～15：35 今年の夏の天候見通し （講師：NPO 法人 気象キャスターネットワーク 事務局長 水越祐一） 15：35～ 閉講式	健康で過ごすための睡眠・栄養・水分補給について トピックスとして深部体温に着目し解説 気象庁の中・長期予報による今年の夏の天候について解説

- （注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。
2：事前に接続テストを実施します。